

JAしみず 平成27年度上半期 経営状況のご案内

1. JAの地域貢献

当JAは組合員の皆様はもとより、管内の住民の皆様とともに助け合い、発展していく地域に根差した協同組合です。「農協があって良かった」の経営理念のもと、農業の発展や豊かな地域社会の実現に貢献することを目的とするとともに、併せて地域から愛されるJAを目指し、金融共済や営農経済をはじめ総合的な事業活動を行い、皆様の日々のお仕事や暮らしのお手伝いをしています。

平成27年度は「次代へつなぐ協同の力」をテーマとして掲げた3か年計画の2年目にあたり、自己改革実践の初年度としてスタート致しました。刻々と変化する外部環境下では農業、JAを取り巻く状況は予断を許さない状況にあり、当JAと致しましても引き続き組織における機能強化、変革を図りつつ組織運営に取り組んでいます。

その一環として、新鮮且つ安全・安心な地元農産物の提供を行うため各地で販売を行うとともに、管内随所で朝市を開催し好評を得るとともに、「営農振興センターアンテナショップ きらり」では清水産農産物における最高級品をはじめ、地元清水の海産物や名産品を取り揃え、“本物の清水のおいしさ！”を提供しています。

各地域においては“仲間づくりの輪”を広げることを主眼に平成23年度から着手している「1地域1協同活動」を展開しています。組合員の方々の積極的な参加を促し、地域住民の方々に、より「農業」を身近に感じていただくことと併せ、自地域や当JAにも関心を高めることにも繋がっています。

また、JA青壮年部、同女性部をはじめとする組合員組織と共に地域の子供たちを対象とした「食農教育」にも取り組み、「食」や「農業」の大切さを広く流布すべく、率先してその“発信役”を担っています。更に同女性部ボランティアグループは、「介護老人保健施設きよみの里」での読み聞かせや農園作業、清水厚生病院での活動も行っています。

その他においては地域に身を置く組織としての社会的責任を果たすため環境保全における諸活動にも積極的に参加しており、今後も地域社会への貢献を念頭にこうした活動を継続対処してまいります。

2. 金融再生法開示債権(単体)

当JAの金融再生法の開示に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：千円)

債権区分	平成27年9月末				平成27年3月末	増減
	債権額	担保・保証	引当金	保全額合計	債権額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,046,677	923,522	123,155	1,046,677	1,052,972	▲6,294
危険債権	397,938	397,698	240	397,938	414,110	▲16,172
要管理債権	307,674	238,744	-	238,744	310,979	▲3,304
合計	1,752,290	1,559,965	123,395	1,683,360	1,778,062	▲25,771

注：1. 平成27年9月末の計数は、平成27年8月末を基準日として行った自己査定結果(債務者区分及び債権額)を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
信用事業に係る総与信(貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替(以下、同様))のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。
信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③「要管理債権」とは、3月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)です。

3. 単体自己資本比率(国内基準適用)

当JAの自己資本比率は平成27年9月末15.22%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成27年9月末(見込み)	平成27年3月末
15.22%程度	15.45%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額)} \times 100}{\text{リスク・アセット(当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額)} + \text{オペレーショナル・リスク相当額}}$$

2. 平成27年9月末の自己資本比率算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成27年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末
貯金	261,976,045	263,546,402	265,355,549
貸出金	82,994,167	82,317,342	83,048,884
預金	166,619,814	171,113,867	168,962,004
有価証券	12,707,733	11,519,883	14,319,492

注：平成26年9月末及び平成27年9月末の残高は帳簿価額を、平成27年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5. 有価証券の時価情報

(単位：千円)

	平成27年9月末			平成27年3月末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	1,252,102	1,283,232	31,129	1,253,508	1,286,286	32,778

(単位：千円)

	平成27年9月末			平成27年3月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	13,148,307	14,066,916	918,609	9,987,460	11,119,473	1,132,013
株式	110,180	754,504	644,324	80,917	853,098	772,180
債券	12,040,499	12,380,891	340,391	9,606,542	9,971,204	364,662
受益証券	997,626	931,520	▲66,106	300,000	295,170	▲4,830

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3. 平成27年9月末の含み損益・評価差額は、平成27年9月末時点の帳簿価額・取得原価との差額を表示しております。
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

注：本資料中に表示している金額は単位未満を切り捨てています。